

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解できていない部分があり、今後の課題として「正しく理解」する必要がある	身体拘束について学ぶ機会を持つ。	ホーム内研修実施。身体拘束になりかねない具体的な例をあげ、拘束をしないで、問題を取り除くにはどうすればよいのかを話し合う。	6ヶ月
2	7	虐待防止関連法について正しく理解できていない部分があり。今後の課題として「正しく理解」する必要がある。虐待が見過ごされることがない環境作りが必要。	虐待について学ぶ機会を持つ。	ホーム内研修を実施し、その都度意識付けを行う。虐待が見過ごされることがない環境づくりはもちろん、報告連絡相談のできる環境づくりや、管理者、ユニットリーダーは他のスタッフのメンタルケアにも十分配慮し、定期的な面談の場を持つ。	6ヶ月
3	21	スタッフとお客様とで、ゆっくり過ごす時間が持てていない	ゆっくりとおしゃべり等できる時間をつくりたい	業務を改善し、少しでもお話しする時間を設け、実行していきたい。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。